

2010年8月24日(火)

テストを活用して学習内容の「理解」と「定着」を  
- テストは何のためにあるのか考えよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 明日、8月29日は、中学3年生対象に栃木県では下野新聞社主催の下野模試、群馬県では群馬統一テスト、茨城県では茨城統一テストが行われます。このような模擬試験をはじめとするテストは何のために行われるのですか。また、学力を向上させるためにはどのようにテストを活用したらよいのですか。

A (林明夫。以下省略)明日茨城、栃木、群馬の北関東3県で行われる中学3年生対象の模擬試験は、来年の高校入試で一人ひとりの受験生がどこの高校に合格する可能性があるかを知る上で欠かせないものです。各高校に入学を希望する人のうち、入学定員の中に入れれば合格可能性が高くなります。ですから、志望校を考える上で大事なテストと言えます。

ただ、テストには別の大切な意味、役割もあります。

Q 何ですか、テストの大切な意味、役割とは。

A (1)テスト期日までに学んだ内容、具体的に言えばテストの範囲の内容につき、テストの日までの勉強により「うんなるほど」とよく「理解」し、「うんなるほど」とよく「理解」した内容についてスミからスミまで正確に身につける、つまり「定着」するためにテストは存在するのです。

(2)テストには、様々なものがあります。毎回の授業内容が身についたか否かをみる「確認テスト」、単元の内容が身についたか否かをみる「単元テスト」、学期の前半と、後半に行われる「中間テスト」や「期末テスト」、「前期テスト」や「後期テスト」などの「定期テスト」、テスト範囲やレベルをあまり制約しない「実力テスト」、合格可能性を判定する「模擬テ

スト)、入学者を選抜する「入学テスト」、「英検」や「漢検」、「数検」、「言語力検定」などの「検定試験」、国家資格等の取得のための「国家試験」、採用者を選抜する「採用試験」などなど。

(3)どのテストにも、一定レベル以上の学力を身につけさせるというテストの目的があります。そのために、試験の範囲を設け、また試験の期日を定めています。テストを受ける人が各テストに合格したり、よい点数を取得するためには、試験の期日までに試験の範囲について十分に勉強(その内容をよく「理解」し、「理解」した内容を正確に身につけた上で、合格点や良い点数を取ること、つまり「応用」すること)が求められます。あやふやな「理解」や「定着」では合格すること、良い点数を取ることではできません。すべてのテストは、学力を身につけるためにあると言えます。

(4)このようなテストの目的や働きを十分に「理解」した上で、テストを活用し、学力を身につけ、自分の未来を自分で切り開いて下さいね。

Q 最後に一言どうぞ。

A (1)一つ一つのテストを確実にクリアしていくことで、その学校を修了するまでに必要な学力や上級学校の入学に必要な学力、検定試験や国家試験、その職場に就くための学力が確実に身につきます。そのようなテスト内容となっていなければテストとは言えないので、出題者である問題をつくる作問者はよい問題をつくり、皆さんにしっかり勉強してもらおうと真剣そのものです。

(2)よい内容の質の高いテストがあり、そこで良い点数や合格点を取ることで自分の将来のために学力を身につけることが大切と考えます。

以上